

推敲チェックリスト

(□にレをつける)

- 読み上げたとき、つまる箇所はないか。
- 1文は40字めど、最長60字に収まっているか。
- 漢字の割合は3分の1程度に収まっているか。
- ひらがなで言い換えられる漢字2字熟語はないか。
(例:「増加する」→「増える」、「把握する」→「つかむ」)
- 文体は統一されているか。
(例:「～だ。～である。～です。」→「～だ。～である。～だ。」)
- 文末の繰り返しで単調になっていないか。
(例:「～だ。～だ。～だ。」→「～だ。～である。～なのだ。」)
- 不要な二重否定はないか。
(例:「～できないこともない」→「～できる」)
- ダブリ表現はないか。
(例:「頭痛が痛い」→「頭痛がする」)
- 漢数字と洋数字の統一、使い分けはできているか。
- 形式語がひらがなになっているか。
(例:「～する事」→「～すること」、「～の時」→「～のとき」)
- 漢字や慣用句の使い方が間違っていないか。
(辞書を引く)
- 不要な接続詞はないか。
- 読者にとって馴染みのない言葉はないか。
(言い換えるか、「枕詞」「カッコ書き」の説明を加える)